

令和6年度 学校評価結果(自己評価)

◎Aが80%以上

○A+Bが90%以上

△A+Bが90%未満

【Ⅰ 確かな学力の育成】				【Ⅳ 自立する力の育成】			
No.	質問項目 ※番号に○は重点項目	集計結果 ■A ■B ■C ■D	評価	No.	質問項目 ※番号に○は重点項目	集計結果 ■A ■B ■C ■D	評価
①	学習内容の基礎・基本の徹底のため反復学習など学習方法、形態の工夫に努めている。	78% 22%	○	①	児童の自己肯定感を高め、社会の一員として自覚と責任を認識させるための、集団活動、個別の支援を行っている。	74% 26%	○
2	「主体的・対話的で深い学び」の観点から話し合い活動、協働学習等を通して、児童が自らの考えを広げ深めることのできる授業を展開している。	48% 52%	○	2	保護者と連携した生徒指導のため、保護者との連絡を密に行っている。	70% 22% 9%	○
3	「主体的・対話的で深い学び」の観点から、課題を明確に提示するなど、児童が見通しを持ち学習に取り組むことのできる授業を展開している。	74% 26%	○	③	常に児童の情報共有（学年・学校全体）に努めている。	82% 18%	◎
4	「主体的・対話的で深い学び」の観点から、児童が自らの言葉や考え方で学習を振り返る時間を設けた授業を展開している。	30% 65% 4%	○	4	学年内で共通理解を図り、学年がチームとなって、指導・見届けを行っている。	95% 5%	◎
5	見やすくわかりやすい板書になるよう工夫している。	61% 35% 4%	○	5	「鴨川小よい子のやくそく」に沿った指導をしている。	86% 14%	◎
⑥	学習者用端末を活用した授業を行っている。	59% 27% 14%	△	6	児童同士のトラブル、人間関係の不調に対する指導には、いじめの可能性のあることを認識して指導している。	77% 18% 5%	○
⑦	ALTと連携し、ホームルームティーチャーとして外国語教育を推進している。（専科）	80% 20%	◎	7	児童一人一人が大切な存在であることを意識させた指導・支援を行い、差別を許さない豊かな人権感覚が身につくよう努めている。	87% 9% 4%	◎
【Ⅱ 豊かな心の育成】				8	hyper-Q Uを活用し、集団の中での児童一人一人の存在を理解し、個に応じた指導・支援を行っている。（1・2・のぞみ・ひかり学級を除く）	53% 41% 6%	○
No.	質問項目 ※番号に○は重点項目	集計結果 ■A ■B ■C ■D	評価	⑨	休み時間などは児童の話を聞いたり、ともに行動したりするなど児童の小さな変化を見逃さないよう、児童理解に努めている。	83% 9% 9%	◎
1	「鴨川小学校10の約束」を実践させている。	61% 35% 4%	○	【Ⅴ 開かれた学校づくりの推進】			
②	特別の教科「道徳」は年間指導計画（教育課程）に基づき、計画的に行っている。	91% 9%	◎	No.	質問項目 ※番号に○は重点項目	集計結果 ■A ■B ■C ■D	評価
3	特別活動は年間指導計画（教育課程）に基づき、計画的に行っている。	65% 35%	○	1	環境整備、安全点検に取り組み、安全で清潔な学校に努めている。	87% 13%	◎
4	生徒指導・教育相談・校内委員会の内容を共通理解し、学級学年を超えて指導している。	78% 17% 4%	○	2	個人面談、授業参観、個別の家庭連絡などを通して、保護者との連携を図っている。	87% 9% 4%	◎
5	学級経営、学習指導、道徳教育等あらゆる場面をとおして、児童の豊かな心の育成に取り組んでいる。	74% 22% 4%	○	3	学年だより、HP等で積極的に学校の情報を保護者・地域に発信している。	74% 22% 4%	○
6	いじめチェックシートを活用し、児童にはいていぬい指導を行うなど、いじめ根絶と早期解消に積極的に取り組んでいる。	74% 22% 4%	○	【Ⅵ 教職員のマナーアップ】			
7	LGBTQを含む人権意識を育成する授業や指導を行っている。	61% 26% 13%	△	No.	質問項目 ※番号に○は重点項目	集計結果 ■A ■B ■C ■D	評価
【Ⅲ 健やかな身体の育成】				1	自分から明るい表情であいさつをしている。	74% 26%	○
No.	質問項目 ※番号に○は重点項目	集計結果 ■A ■B ■C ■D	評価	2	行動、言動は適切で、教育公務員として服務の厳正に努めている。	78% 22%	○
①	児童の体力向上のため、体育授業の充実を図っている。	78% 17% 4%	○	3	交通安全に努め、余裕を持って出勤している。	70% 30%	○
②	給食時には、個々にそった声かけ等を行い、マニュアルにそった確認を徹底している。担任不在時においては、補欠教諭、養護、管理職など連携を密にしている。	78% 17% 4%	○	④	働き方改革の推進を図り、メリハリをつけて仕事を進めている。	61% 39%	○
③	食物アレルギー等に関する研修を進め、事故の未然防止等に取り組んだ。	65% 35%	○	5	校内の教職員と適切な人間関係を構築している。	74% 26%	○
④	避難訓練には、適切な事前指導・事後指導を行っている。	91% 9%	◎	【Ⅶ 特色ある教育活動の充実】			
5	児童の安全には常に留意し、施設・設備の安全点検を行っている。	91% 9%	◎	No.	質問項目 ※番号に○は重点項目	集計結果 ■A ■B ■C ■D	評価
6	交通安全指導については、定期、随時に適切な指導を行っている。	83% 17%	◎	1	読書活動の推進のため、図書室を積極的に活用したりするなどの読書指導をしている。	65% 30% 4%	○
				2	総合的な学習の時間において、情報活用能力の育成に取り組んでいる。	61% 30% 4% 4%	○
				3	GIGAスクール構想の推進のため、プログラミング教育の理解に努め、プログラミング的思考を高めるための授業改善に取り組んでいる。	52% 35% 9% 4%	△
				4	児童の情報活用能力の向上のため、ICT機器などを活用している。	78% 22%	○

令和6年度 学校関係者評価委員会委員 学校評価

評価規準 4…よくできている 3…おおむねできている 2…あまりできていない
1…できていない 0…評価不能、評価することができない

No	学校経営、教職員の服務等について	評価 平均
1	学校は、学校教育目標の具現化に向け取り組んでいる。	3.8
2	学校は、学習指導の充実に取り組んでいる。	4
3	学校は、いじめ防止や児童理解のため、生徒指導、教育相談の充実に取り組んでいる。	3.3
4	教職員は、児童一人一人を大切にした学年・学級づくりに取り組んでいる。	3.5
5	学校は、児童の新型コロナウイルス感染防止のための対策や交通事故防止などの安全に関する取り組みや、体力の向上、自ら健康教育に取り組んでいる。	3.3
6	教職員は、公務員としての自覚を持ち、児童の模範となるようマナーの向上に努めている。	3.5
7	学校は、情報活用能力、プログラミング的思考の育成など特色ある教育、新しい教育に取り組んでいる。	3.3
8	学校は、保護者、地域の方に開かれた学校づくりに取り組んでいる。	3.2
No	児童の活動等について	評価 平均
1	児童は、集中して学習に取り組んでいる。	3.3
2	児童は、ていねいな言葉づかいができています。	3.3
3	児童は、友達や先生、来校者、地域の方々に進んであいさつをしている。	3.3
4	体育発表会などの学校行事は、楽しく充実したものになっている。	3.6

ご意見

- ・子供たちが学校に来て楽しい、また明日も行きたいと思えるような、のびのびと過ごせる場所であって欲しい。
- ・子供たちが安心して過ごせるよう、先生方にもゆとりを持って過ごして欲しい。
- ・大変かもしれないが、子供たちが持っている個性を充分に発揮できるようにして欲しい。
- ・学校生活が楽しいと評価する児童が多く、日頃の先生方のご指導が実を結んでいると感じた。
- ・保護者アンケートにある「家庭との連携」に対して評価が低めなのは、「どのような理由なのか」「何を求められているのか」が分かると改善につながると感じた。
- ・友達、先生、来校者、地域の方々にあいさつできる児童になって欲しい。
- ・他の人（動物）に思いやりのある人間に育って欲しい。
- ・評価の低かった項目については、その後の改善への取組についても発信して欲しい。